

こぼれ種32
「苦難から喜びへ」
—盛岡YMCA30周年を迎えて—
日本基督教団内丸教会牧師(元日本YMCA同盟 主事)
中原 真澄



10月26日、盛岡YMCA設立30周年記念式に、私も参列することが出来ました。盛岡Yらしく慎ましい中にも温かさが溢れ、ここ数年を共に歩んだだけの私も、穏やかな感動に包まれる式でした。石渡理事長はじめ幾人かが言われたのは、設立後15年の頃、苦しい経営に「撤退しようか」という話になった時、改めて力を与えてくれたのが「子ども達の心の故里をなくさないで」と訴えた保護者や子ども達自身の言葉だった…と。

私がスタッフとしてYMCAで働いた時も、わざわざお礼を頂戴した記憶が幾たびもあります「家に戻って何日もYMCAのことばかり話す。あんなに楽しそうな我が子を見たことがない。これからも宜しく」と。一度など、怪我させたお詫びに行ってもそのま家に上げられ、遅くまで酒を酌み交わしたこともあり。これらはYMCAが「評価」や「競争」と関係なく、一人ひとりを大切に見守ってきたことの成果だろうと思えます。

こうした活動は、今の世相と反対に「効率」や短期的「成果」は期待できません。それが「教育」のむしろ本質だからです。だから、事業として成立し続けてゆくのが困難な実情もあります。盛岡YMCAもそうした現実の中、しかし多くの関係する方々の熱意と祈り、実際的な奉仕と献金によって乗り越え、今に至ってきたことに改めて感慨を覚えました。「継続こそ力」と昔から言われますが、継続することで力が生まれ、その力がまた継続を可能にしていく…その要(かなめ)は常に「人」でしたし、これからもそうである続けるでしょう。

「事業」でもなく「資金」や「施設」でもなく、「人」こそがYMCAにとって唯一の、そして何よりも誇れる力の源泉であり成果であることを、改めて覚えた設立記念式でした。

苦しみにあったことは、わたしに良いことです。これによってわたしは、あなたのおきてを学ぶことができました。
(詩119篇71節—口語訳聖書による)

子どもが作る物語
「クルンきゃうしゅつ大さくせん」③
作:佐々木 拓実(ふういむ・たいむ本町校) 嵯峨小2年

なんと、とびらのむこうにはあのおとのおなじものがいたのです。プクプクを見つけると、すぐさまおそいかかってきました。でも、プクプクもまけてはいません。
「ここでまけてたまるかあ!!」
なんと、プクプクはそれをとじこめてしまったのです。
「よし、かったぞ。」
プクプクはつぎのへやへいきました。でも、つぎのへやはただのかいだんがあるへやです。プクプクはとにかく先へすすみました。
とちゅうのわかれみちでまよわされましたが、なんとクルンがいるばしょにたどりつきました。
「おい、クルンちゃんをはなせ!!」
プクプクはゆうかんにたちむかいました。てきのこうげきはつよく、プクプクは今にもまけそうです。
でも、まほうの森の虫たちには、じぶんのまほうとはまったくかんけいがないけれども、なにかしらのひっさつわざをつかえるのです。
「くらえ!でんげきソード!!」
ひっさつわざというだけあって、いりよく大きく、ボスも一げきでたおせました。
でもそのときに…



11月・12月予定

- ☆11月3日(日)
チャンピオンズカップ
(於:岩手県立大学サッカー場)
- ☆11月10日(日)
11月サテライトスクール
「キラキラ万華鏡作り」
(於:YMCA本町センター)
- ☆11月17日(日)
11月アドベンチャー
「探し出せ!YMCA探検隊!」
(於:滝沢村森林公園)
- ☆11月23日(土・祝)
街頭募金 (於:盛岡市街地)
- ★12月1日(日)
キャンプ説明会① (於:アイーナ)
- ★12月14日(土)
キッズクリスマス (於:内丸教会)
- ★12月15日(日)
キャンプ説明会② (於:アイーナ)
- ★12月26日(木)~29日(日)
エンジョイスキーキャンプ
(於:八幡平リゾートスキー場)
- ★12月27日(金)~29日(日)
ジュニアスキーキャンプ
(於:八幡平リゾートスキー場)
- 盛岡YMCA休館日
12月30日(月)~1月3日(金)

～表紙の写真より～



今年、盛岡YMCAはめでたく創立30周年を迎え、10月26日には多くの方にご参列いただき、30周年記念式典を行うことができました。式典では特別講演会として、京都サンガF.C.ホームタウンアカデミーディレクターの池上 正氏を迎え、「叱らず、問いかけろ。」という演題でお話を頂きました。感謝会では、学生リーダーたちが用意したゲームで交流もあり、笑い声の飛び交う楽しい時間となりました。今回、盛岡YMCAがたくさんの方に支えられてここまで来たことを実感しております。今後も皆様方のご支援のもと、さらなる発展を目指して活動していきます。そしてまた10年後20年後もこうして多くの方に祝福してもらえるYMCAとなっていきたいものです。ご協力ありがとうございました。

MORIOKA
YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命
私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。
1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2013年11月号



発行人:濱塚有史 編集人:家村知佳 発行所:特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: http://www.ymcajapan.org/

「僕とYMCAのこと」
及川 将樹 (盛岡YMCAベスト・キッズOB)

僕がYMCAと出会ったのは小学5年の頃でした。母親がどこからか調べてきてYMCAに入ることを勧めてきたので、特に何も感じず松園で行われているサッカー教室に行くことにしました。そもそも何故母がYMCAを探し、勧めてきたのかというと、当時僕は別のサッカークラブに所属していました。しかし、サッカーをやっているというよりやらされている、という感じで、サッカーを楽しむことはなかなか難しく、母に相談した事が大きな理由です。
そういう事からYMCAサッカー教室に通い始めたのですが、松園サッカー教室に来ていた子供達のほとんどは北松園の小学生で、知り合いはゼロ。さらに人見知りで、最初はうまくみんなと馴染めずいました。そして、夏が訪れました。夏合宿に参加した僕ですが、当然みんなに馴染めていない状態で行くことになっていたので行きバスの中はあと何時間で帰れるのだろうか…と考えていました。
合宿所に着き部屋に向います。部屋を開けると二段ベッドが3つあり、ベッドと壁の間に子供1人入れるスペースがありました。狭いとこが大好きな僕はまだ部屋メンバーが集まり出してないことを確認し、そのスペースに飛び込みました。完璧な隙間に感激する瞬間、部屋中に大きな声の笑い声が響きました。やばい見られた。振り返るとそこには大きな声で笑っている向平悟の姿。その笑い声につられ森谷啓も部屋来て悟のように大声で笑って、僕もよくわからないけど笑ってしまいました。

そこからみんなと仲良くなるのはあっという間で、合宿の中で行われた岩手山カップでは僕や啓のチーム毛刈り隊が優勝し、本当に楽しい合宿になりました。
(部屋のメンバーは僕の他に、伸、悟、碧、そして、啓)
そこからは毎週YMCAのみんなとサッカーする事が楽しくなりサッカーってこんなに楽しいものなんだ、と再認識することが出来ました。きっと、YMCAとYMCAのみんなに出会っていなければ、僕はサッカーを嫌いになっていました。
そんなYMCAからは多くのことを学びました。何事も楽しむ大切さや、仲間の大切さは、YMCA、サッカーを通じて僕の中に積み重なっています。きっとこれはYMCAのみんなもそうだと思います。この経験を活かしそれぞれが自分の進路で頑張っていると思います。
いつか、またみんなで集まった時には昔話で一杯やりたいと感じる及川将樹でした。おわり。



感謝
三十周年記念史賛助会員
2013年年度 順不同・敬称略

- 三十周年記念史賛助会員
- 長岡正彦、竹内一真、水野雄二、田村浩之、伊藤真一郎、岩崎スエ、雲丹谷三子、今松桂子、森山日菜乃、南原良哉、(株)盛岡ユニホーム、盛岡南ドラインボクシング、山本常雄、吉崎陽、工藤泰、中原真澄、加藤明宏、伊藤克見、小林茂元、和歌山YMCA、北田アユ子、角谷晋次、大関靖二、三田弘子、伊藤洋子、伊藤光一、伊藤真一、伊藤雄基、吉田ひろ子、石崎一之、石崎稜、朴正浩、山本英志、花田暲、千葉代子、佐藤翔、吉本貞一郎、木下恵合子、及川茂夫、大和田浩二、菊池崇江、小畑孝子、朴正浩、飯島隆輔、孤淵光彦、熊谷太、越前谷洋子、清水弘一、池田勝一、深澤秀男、古澤伸、濱塚有史、花松行雄、守下昌輝、重石桂司、長谷川精一、人見晃弘、森シエンシステム、柴田路子、高瀬裕彦、横倉純、光永尚生、石渡隆司
- 東日本大震災被災地支援募金 献品
- 南原良哉、林間つきみ野教会、味岡菓子、飯詰子、日本アーツイストユニオン、茨城YMCA、宮古市魚菜市場青年部、菊池崇江、林間つきみ野教会、大阪YMCA松尾台幼稚園、木下恵合子、六甲学院、伊藤真一郎、ワイズメンズクラブ東日本区北東部
- 維持会費
- 花田暲、角谷晋次、角谷千代子、山澤美和、松尾聡子、石崎一之、池田暲、佐藤翔、高瀬裕彦、杉田弘美、長岡正彦、名古屋恒彦、熊谷力、實、大関靖二、熊谷太、古和田周吾、及川茂夫、名古屋恒彦、戸貫文、早坂春希、伊藤克見、鬼柳忠彦、濱塚有史、清水弘一、谷藤敏多、吉崎陽、重石桂司、川守田浩、工藤直子、田村治之、北田アユ子、熊谷一子、岩崎スエ、今松桂子、齋藤稜太、桑原良幸、増田隆、今野健男、佐藤洋史、佐々木多恵、守下昌輝、水田賢次、石渡隆司、今野健男、今野憲地、清水治彦、濱塚有史、濱塚真美、濱塚恵太、花松行雄、長谷川精一、井上修三、井上優子、井上浩太郎、島岡孝匡、伊藤真一郎、小山憲彦、小畑孝子、菊池弘生、光永尚生
- 寄付金
- 花田暲、佐藤翔、高瀬裕彦、杉田弘美、古和田周吾、及川茂夫、及川恵一、戸貫文、早坂春希、伊藤克見、清水弘一、吉崎陽、川守田浩、中屋重正、今松桂子、増田隆、水田賢次、石渡隆司、今野健男、今野憲彦、濱塚有史、濱塚真美、重石桂司、井上修三、伊藤真一郎、小山憲彦、菊池弘生、光永尚生、池上正、魚住英昭、学校法人カナン学園

10月アドベンチャー 『なに焼くの?いもでしょ!!』

何焼くの〜???芋でしょ!!さんまでしょ!!!いやいや、マシヨマロでしょ!!!!そう!!今回のアドベンチャーは『〇〇焼きレストランに挑戦!』。10月20日に、少し雨の降る中、スタッフ1名、リーダー12名、子ども13名の総勢26名がアイーナに元気に集合しました☆少し緊張している子もいましたが、いざ出発!!となるバスでは大はしゃぎ。グループごとで何を焼くのか話し合いながら、ビックハウスでお買い物をしました。予算に収まるようにいろんなアイデアが飛び交い、また、何やらそこそそと相談しているグループも…。一体何を焼くつもりなのか…。そうしてウキウキしながら、再びバスへ。

外山森林公園に到着するまでの間、今度は皆で大熱唱♪ロックマイソウルという歌では、雨なんて吹き飛ばしてしまえ〜!!と言わんばかりの盛り上がり♪マイを、えだまめリーダーのママに変えて歌ったりと楽しんでいる姿も見られました♪

そして、あっという間に到着。荷物を手分けして運びだし、早速調理タイム☆グループごと、買って来た食材を切ったり、アルミホイルで包んだり、火をつけたり…。中には、ポウルとダンボールとアルミホイルで、鍋と鍋蓋を作るグループも…。一体何を作っているのやら?と、とても興味をそそられる場面も!!出来上がりがワクワク!!そして各グループが焼き具合を棒つつき確認。アルミホイルから中身を取り出すと、それはもうイイにお〜いがブンブン。そうすると、口をモグモグさせている子があちらこちらで…。「あ、食べたな!見たぞ〜!」と言われニヤニヤしている子もあり、食べるのがとても待ち遠しいようでした。

調理も終わりレストランの看板を各グループが一生懸命に作成☆思い思いの看板を手で作ったものを並べ、発表☆「コキンと猫の注文の多いレストラン」では芋の他に、さんまやトモロコシも。「スイートレストラン」では、焼きマシヨマロや

チョコフォンデュ!!とっても甘いレストランでした♪「どんぐりときのこのレストラン」では、なんと、焼きホタテ醤油味、焼きぶどうが!!どれも数に限りがあり、あっという間に完売しました。

そして最後は、「わらび屋」というレストラン。このメニューには、なんと…あら汁が!!先月のアドベンチャーでも大評判だったあのあら汁が、帰ってきたのです。もちろん料理名も「帰ってきたあら汁」というもの。調理時間に、鍋と鍋蓋を作っていた理由はこれだったのだととても関心させられました。芋以外にこんなに焼くものが出てくるなんて本当にびっくり!!4つの個性豊かなレストランの料理をバイキングのように取り、みんなで堪能しました。

それからは使ったお皿や道具を手分けて片付け帰る準備。高学年の子達を中心に、お手伝いをしていました。帰りのバスでは、またまた大熱唱♪たまたごとニトリという曲で、歌うというよりは、叫ぶに近いような白熱ぶりでした♪その後は、クイズをしたり、ますおリーダーのちょっと深いイイお話を聞きながらアイーナに向かいました。解散時には、少し照れくさそうに「またねー!」という子や「11月のアドベンチャーまたくるー!」と元気な声も!リーダーたちは、またそんな元気で明るいみんなとまた遊べることをとても楽しみにしています☆みんなと会えるのが待ち遠しい☆たった1日でしたが、みんなの笑顔がたくさん見れてとても嬉しかったです。ありがとうございました。

岩手大学教育学科2年 武田 悠 (ゴリナリーダー)



↑ 美味しそうにさつま芋が焼けたよ! いいにおいだー☆



↑ あっ!つまみ食いしてる子がいるぞ!!

バナナやマシヨマロ、そしてチョコフォンデュまで!!!

10月サンデースクール 『ぎょうざパーティー♪』

10月13日(日)に、おでって5階にて、サンデースクールを開催しました。今回は、「餃子パーティーをしよう」ということで、子ども22人、リーダー12人と、先月に引き続きたくさんの人が参加してくれました。

前に置いてあるバラエティーに富んだ様々な食材の中から材料を選択し、選んだ材料を皮に包んで、あとは焼くだけ。このようなかたちで進めていきました。とても個性的な材料の組み合わせをしている子。「見て。」と言われて見たら美しいしゅうまいを完成させていた子。「餃子の皮なくなってきたね。」と話をしたら、皮を半分に切り、1枚で2個作る子。みんなイキイキといろいろな餃子を生み出していました。同時に子どもたちの発想の豊かさに驚かされる場面も幾度となくありました。

また、今回は余った時間、材料を利用して餃子以外にも一品作っている姿が見られました。あるところはサラダだったり、あるところは野菜炒めだったり、デザートだったりこれまた餃子に並んでとても個性的なものばかりでした。

食べるときは、お皿からランダムに取り、誰が作ったか分からない状態で食べました。具の当てっこをしたり、お友達とお話しながら美味しそうに食べている姿が印象的でした。私を含め全員が楽しく、料理できました。また参加したいという声も聞けてよかったです。ぜひ子どもたちには、家に帰ってから家族に自分だけの餃子を作ってあげてほしいと思います。

最後になりますが、メインとして至らない点が多かったのですが、臨機応変にサポートしてくれたリーダーの皆さん。本当にありがとうございます。次回は万華鏡を作ろうです。次回のサンデースクールも楽しく愉快なものにしていきます。

盛岡大学栄養科学科2年 小菅友輔(わらびリーダー)



少年サッカー新人大会 ちよきんぎょカップ

9月28日~10月6日までちよきんぎょカップ第31回岩手県少年サッカー新人大会が開催されました!

その大会に盛岡YMCAベストキッズの5年生以下の17人も参加して来ました。先月に行われたかめめの玉子セーラーカップに出場した選手・今大会が初めてのユニフォームを着る選手と様々いる中、セーラーカップが終わってから新チームとなって大会当日まで練習をしてきました。試合結果は全5試合をして3分2敗でグループ4位となりグループ突破は出来ませんでした。が、他のどのチームよりも仲良く明るく本気でサッカーをしていました。しかし、試合の合間の過ごし方やしっぴりやるところとリラックスするところの切り替えなど色々な面で強くなっていくためにまだまだ足りない部分もありました。自分のためだけでなくチームのために走り、戦い、働く!人のために力を発揮できるチームを目指します!悔しい思いを一瞬で終わらせないために、もっともっこの仲間たちとサッカーをする喜びを感じるために努力するきっかけとなる大会となりました。

盛岡大学児童教育学科2年 向平 悟 (ジーバンリーダー)



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 10月報告書

=アドベンチャークラブ: 兜明神岳 ヤッホーっ! =

そろそろYMCAニュースの原稿締め切りだなあ…。時々筆の運びが重く(?)なることもあります。いざ写真を選び出すと楽しかった時間が戻ってきてついつい文字数が足りず、編集のしろくまりリーダーを困らせています。今回もそんな楽しい例会でした。

10月12日(土)、区界へ近づくと雨脚が強くなり、不安の声が出てきました。到着後、内容変更かと思いきや、盛岡YMCAの某雨男リーダーのパワーが弱まり、途中の兜広場までは登ることに決めました。今回の指導者体制はYMCAスタッフ以外に盛岡YMCAリーダー、岩手大学・宮古商業高校や地元ボランティアに加え、閉伊川大学校(アウトドアのスペシャリストの地元ガイドであり看護師)、東京から山の会(日本屈指のプロアイスクライマー)と恵まれた体制です。老若男女・さまざまな専門分野の人たちで子どもたちのチャレンジを支えました。

今回は雨のあとで、岩が滑りやすかったので頂上までは登れませんでした。途中の兜広場で昼食を摂った後、登り口まで全員で移動し、中・高学年だけ途中まで岩登りを挑戦しました。雲の切れ間から見えた山々は壮大で、思わずみんなで「ヤッホー!!」すると下から1、2年生が「ヤッホー!!」と上と下からみんなで楽しみました。

次にわき水(水源)を求めて出発です。足元のぬかるみもまた面白い。滑ったり、「ぬるっ」とする足裏感覚はアスファルト生活では無く、一瞬動物の「カン」で歩きます。山は秋の足音が感じられ、真っ赤な木の実や、紅葉のじゅうたん。雨だからこそ鮮やかに発見できる宝物もあります。そうこうしているうちに下山し、すでに青空がとてもきれいでした。さっきまでの天気、気分も晴ればれた。大人も子どもも、同じように遊びまわりました。普段なかなか味わうことの少ない、「少し怖い(ドキドキ)体験」「チャレンジ(勇気を出す)する」機会は子どもたちにとって大切です。客観的にほめられることも大切ですが、「できた事実」、「がんばった自信」を自分でかみしめる体験が、子どもたちの心身を強く鍛えるのだと思います。またあそびに来てくださいね!

宮古ボランティアセンター長 木田 泰之



↑ ハイ、チーズ!ゴールは目の前☆

↓ きれいだねー。見晴らし広場での休憩。



フリータイム、みんなで「3,2,1,ゴロゴロゴロ……!」



← 岩登り。ゴールで「ヤッホー!」



→ 真っ赤な木の実を発見!これは食べられるのか?!

☆ リーダー紹介☆ その⑫

久しぶりのリーダー紹介!今回はだいくリーダーこと、村上 かながご紹介いたしますよ★

盛岡YMCAのリーダーで、いつも眠そうなリーダーといえど…。ひとりしかいません!まずおです☆まずおの本名は東海林 俊一(とうかいりん しゅんいち)と言います。珍しい名字だと思のですが、彼の出身地の山形県だとそれほど珍しく無いらしいです!

彼は現在、盛岡大学社会文学部社会文化学部にて勉学に励んでいます。私は大学が違うため大学の様子はわかりませんが、盛大のリーダーから聞く話では大学生活を楽しんでいるみたいです♪まずおは見かけによらず(?)アクティブで、バスケットボールのサークルにも所属して活動しています!そしてサッカーが大好きです★

私がまずおに初めて会ったのは今年の5月で、アドベンチャーの前日準備でした。まずおの第一印象は、とてもクール!口数もそんなに多くないし、どんな人なんだろうと思いました。サッカースクールやアドベンチャーでまずおと一緒に活動を重ねていくうちに、彼はゆるゆるしているけれどきちんと自分の考えや鋭い意見を持っていることが分かってきました。そして時間もしっかり守って、かなりのきれい好き!意外としっぴり者です!!(笑)

一緒に活動しはじめの頃は、あまり話す機会もなかったし何を考えているのか不思議でした。まずおの考えていることや、本音を聞くことが

できたのは最近になってからです。彼はきちんと目標を持って活動に参加して振り返りもしているから、私も見習わなければ(*^_^*)そして最近判明したことがもうひとつ…まずおはとっつても食いしん坊です!!とりえず机の上にお菓子があると真っ先に手を伸ばすのはまずおだし、ミーティング中終始始食べているのもまずおだし、とにかく常に口がもぐもぐしている!!(笑)これが世に言うスイーツ系男子なのか?!

実は熱い情熱を持ち合わせている男、まずお。そんな彼とこれから一緒に多くの活動していき、まずおのことをたくさん知りたと思います!睡眠には勝つね(笑)

文責 岩手県立大学看護学部1年 村上かな (だいくリーダー)



ぼくが、まずおです!



私のだいくです♪